

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【宮城県】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	白石市立東中学校1学年4学級108名とその保護者
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 ()</p> <p>② 行事名 (第1学年親子行事『親子でリズム体操に挑戦しよう!』)</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	宮城県南を中心に活躍するアスリート(高校生・大学生)を招へいし、中学生を対象に男女新体操競技に親しむ機会を設け、運動遊びを通して新体操競技を体験させることで、新体操への理解と親睦を深める。
5 取組内容	<p>10月に行った、ベラルーシ新体操ナショナルチームとの交流会を経て、今回は白石文化体育施設ホワイトキューブを会場として、東中学校の生徒とその保護者を対象に、新体操に関わる身近な大学生や高校生から指導を行ってもらった。普段は学校の体育館の床で運動をしている生徒だが、男子新体操競技で使用するスプリングマット上での運動体験活動や、女子新体操で使用する手具の使い方など、体育の授業等ではできない体験をすることで、マイナー競技である新体操への興味・関心の向上を図る機会とした。その際、親子混合のグループをつくり、短い音楽(30秒程度)に振りを付けて、リズムに乗って親子のグループで踊る楽しみを味わった。</p> <p>全体の流れ(司会:村上智幸)</p> <p>(1) 開会宣言</p> <p>(2) 開会のあいさつ 1学年委員長</p> <p>(3) 指導者紹介 青森大学学生、名取高校男子新体操部、白石高校女子新体操部</p> <p>(4) 準備体操 東中学校生徒</p> <p>(5) 新体操の基礎的な動きづくり 名取高校男子新体操部</p> <p>≪新体操の体験活動≫</p> <p>名取高校男子新体操部が中心となり、新体操の動きづくりの運動を音楽に合わせて取り組ませた。単純な曲やリズムに合わせた動きを模</p>

	<p>範として見せた後、親子が一緒になって動きづくりに取り組むことで、新体操の基礎を学ぶことができた。</p> <p>※ 休憩</p> <p>(6) リズム体操に挑戦しよう！ 青森大学学生、名取高校男子新体操部、白石高校女子新体操部</p> <p>《簡単な動きを構成して発表する活動》 新体操の指導者の指導の下、親子混合の5～6人程度のグループをつくり、動き作りの中から興味のある動きを選択したり、自分で考えた動きを見つけたりして、30秒程度の曲に合わせていろいろな動きを合わせた一連の動きを構成した。その後、全体の前で(5～6チーム同時に)発表した。</p> <p>※ 休憩 諸のウォーミングアップ及びリハーサルのため模範競技前に15分程度の時間を確保します。</p> <p>(7) 模範演技 青森大学学生(個人の演技披露) 名取高校男子新体操部(団体の演技披露)</p> <p>(8) 閉会のあいさつ 1学年副委員長</p>
6 主な成果	<p>東京オリンピック・パラリンピックに向けて頑張っている、身近なトップアスリートの演技を見たり、普段は立ち入ることのできない専用の競技場所で本物の器具を用いて一緒に活動したりしたことで、未だマイナースポーツである新体操への興味、関心を高めることができた。</p>
7実践において工夫した点(事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> ・専用の競技場や使用器具など、本物を利用したこと。 ・新体操部を有する本校の特色を生かし、卒業生が現役で頑張っていることを生徒や保護者に広く知らせるようにしたこと。 ・自分の好きなことを続けることで、それが周囲の人々に元気を与えたり、役に立ったりするということを知らせることで、それぞれの志を高める一助になるようにしたこと。 ・親子でリズム体操に取り組むことによって、親子の関わりを深めるようにしたこと。
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・100名を超える生徒をグループに分けて活動させるためには、指導者の数や場所、用具等の物理的な面での不足がある。 ・なじみのないリズム体操(新体操)に関わることに難しさ(音楽に合わせて体を動かす、みんなの前で発表する等)を感じた。音楽に合わせて体を動かしたり構成を考えたりする活動に違和感なく取り組ませるためには、もう少し時間が必要である。
9来年度以降の実施予定	<p>同様な事業を行う予定はないが、適宜、新体操や先輩方の活躍に関する情報を知らせ、身近に感じさせるようにしていく。</p>